

Amphenol®

PJシリーズ

高性能防水丸型コネクタ



アンフェノール

PJシリーズは、屋外で使われる無線通信機器や携帯電話基地局の外部インターフェイス用として開発されました。

悪環境でも十分に耐えられる防水性と耐候性を有しながら、操作性の良いバヨネットロック方式を採用しています。

特長

- **防水構造**
 - ・ 嵌合時IP68相当(水深2mにて48時間)の防水性
 - ・ レセプタクルは、フランジ部にOリングを標準装備
 - ・ プラグは防水ケーブルグランドASSYを標準装備
- **耐腐食性**
 - ・ 塩水噴霧720時間をクリアする黒色アルマイト
- **ワンタッチの嵌合方式**
 - ・ クリック感のある3点バヨネット方式で容易な着脱
- **高密度のインサート配列**
 - ・ JIS5432規格の最大1.6倍のコンタクト密度
 - ・ 4芯(定格:20A)~26芯(定格:5A)
- **JIS5432規格と同じパネルカット寸法**
 - ・ パネルカット寸法を変更することなくJIS5432規格レセプタクルと置き換え可能



仕様

材料			
シェル	材料	アルミニウム合金	
	表面処理	黒色アルマイト処理	
コンタクト	材料	黄銅、ソケットコンタクトは銅合金	
	表面処理	銅めっき下地、銀めっき	
インサート		DAP (ジアリルフタレート樹脂)	
Oリング		NBR	
リテーナーリング		SUS	
防水ケーブルグランドASSY		66ナイロン / EPDM	
結線方法		半田	
RoHS指令		適合	
性能特性			
定格電圧		DC 140V / AC 100V rms	
耐電圧		AC 1000V rms (1分間)	
定格電流	コンタクトサイズ	12	20
	電流	20A	5A
使用温度範囲		-40℃~+100℃	
接触抵抗		5mΩ 以下 (@ 1A)	
絶縁抵抗		1000MΩ 以上 (DC 500V)	
耐久性		500回嵌合保証	
熱衝撃試験		-40℃~+100℃、5サイクル	
防水試験		水深2m、48時間 (IP68)	
塩水噴霧試験		塩水濃度 5% 720時間	

インサート配列

配列記号

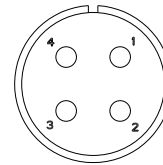
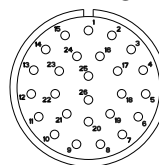
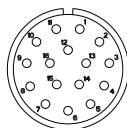
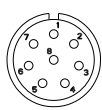
13-8

16-16

21-26

21-4

コンタクト配列
ピンインサートの
嵌合面側
から見た図



シェルサイズ	13	16	21	21
芯数	8	16	26	4
定格電流	5A	5A	5A	20A
コンタクトサイズ	20	20	20	12
適合電線サイズ	AWG20以下	AWG20以下	AWG20以下	AWG12以下

注文方法



① PJ シリーズ

② シェル形状 02: フランジレセプタクル
06: ストレートプラグ

③ 結線 S: 半田

④ インサート配列

⑤ コンタクト形状

配列記号をご覧ください

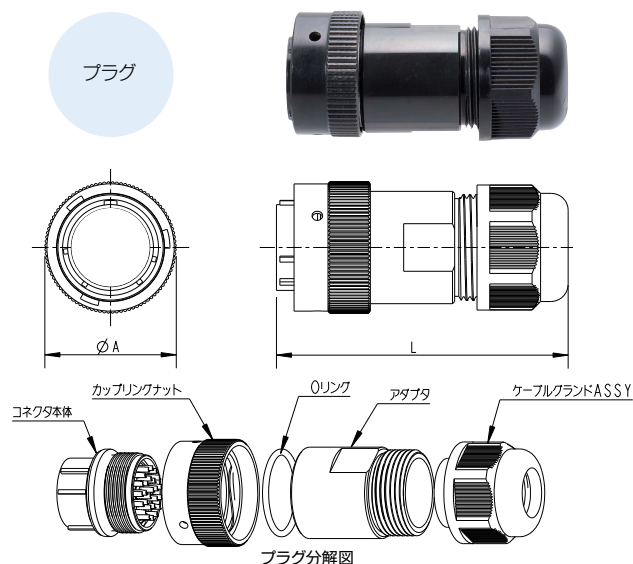
P: ピンコンタクト

S: ソケットコンタクト

※レセプタクルにはOリングを標準装備

※プラグには防水ケーブルグランドASSYを標準装備

形状・寸法



シェルサイズ	φA	L	S	R
13	21.0	58.0	26.0	20.0
16	25.0	64.0	29.0	23.0
21	30.5	71.0	32.0	26.0

(mm)

アプリケーション

- 携帯電話基地局
- 計測機器
- 工作機械
- 屋外電子機器
- 監視カメラ
- FA関連装置 など

防水防塵を必要とする屋外の静的な装置や工場内の悪環境下での使用を想定しています。

結線方法

1 結線準備(プラグコネクタの場合)

コネクタに付属するカップリングナット、アダプタ、ケーブルグランドASSY等をケーブルに通しておいてください。

2 適合電線

シェルサイズ	13	16	21
キャプタイヤケーブル シース外径 (mm)	φ4.5~φ8.0	φ6.0~φ10.0	φ9.0~φ14.0

3 ストリップ作業

①キャプタイヤケーブルシースのストリップ

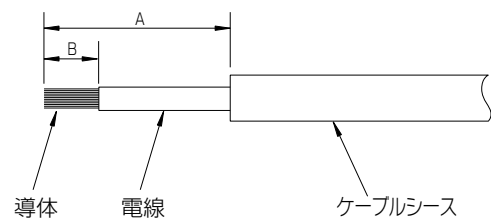
下表の寸法を参考にシースをストリップしてください。

シェルサイズ	13	16	21
A 寸法 (mm)	20	23	30

②電線のストリップ

下表の寸法を参考に各電線をストリップしてください。

コンタクトサイズ	20	12
電線径	AWG20以下	AWG12以下
B 寸法 (mm)	3.7	6.2



4 予備半田及び半田付け

①ケーブルの導体に予備半田を施す。

注) 予備半田は、ケーブルの被覆部まで行わず、仕上がり状態はコンタクトのパレル径より小さく、ムラのないこと。

②コンタクトに予備半田を施した導体を挿入する。

③コンタクトと導体を半田ごてで加熱し、半田を流し込んでコンタクトと導体の隙間を埋める。

※半田付け部には、絶縁強化のため熱収縮チューブを被せることを推奨します。

推奨使用半田ごて: 10W 推奨ごて先温度: 280~300℃



(アプリケーションのイメージです。)

Amphenol アンフェノール ジャパン株式会社

□ 本社・工場 〒520-3041 滋賀県栗東市出庭471-1 TEL 077-553-8501(代) FAX 077-551-2200
 □ 横浜オフィス 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-2-8 TEL 045-473-9219(代) FAX 045-473-9204

<http://www.amphenol.co.jp/industrial>